

(様式3)
目標達成計画

事業所名 居場所 あおの
作成日 平成24年10月13日

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み
				目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 職員は、「身体拘束についての研修」は行って理解はできているが、ユニット入り口の施錠はしている。	両ユニットの入り口の施錠を外す。	これに依つて利用者様の行動範囲が広まり、職員の行き来も多くなり、情報も入りやすくなる。サービスの差もなくなる。玄関は、事務職員が目で見る。事務室を空ける時ユニットに声をかけ必要時は、風除室の中側を施錠する。
2	19	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援する一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支える関係を築く。	家族への手紙(は隔月に行っています。園内報「じょんのび号」)を定期的に年4回発行する。	次回 じょんのび15号 平成24年11月 じょんのび16号 平成25年 2月 じょんのび17号 平成25年 5月 じょんのび18号 平成25年 8月 じょんのび19号 平成25年11月
3	20	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方・これまでのサービス利用等のシートを作り入れる。	ご利用者の馴染みの関係が継続出来るようご本人やご家族の希望により、外出支援を取り入れる。	誕生日プレゼントをなじみのお店へ一緒に買いやく。かかりつけの医院へ受診された時も一緒に食事でもどお願いする。ご家族ができないなら、職員が対応する。
4	24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める。	ご利用者の情報をより把握できるように、生活歴・馴染みの暮らし方・これまでのサービス利用等のシートを作る。	入所時に「日常生活について」と「入所時にご用意いただいた物」の中に書いてある物からピックアップし、面接時にご家族から聞き取りし、シートを作成する。
5	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した介護計画を作成する。	介護計画の目標と運動するモニタリングシートを作成し、次のアセスメントに繋げる。	モニタリングシートの作成。 1年

		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	事業所としての重度化した際の対応の方針をまとめ、説明しやすいうようにする。	契約書に則り、説明書を作成する。 きちんと説明し、方針を共有する。	
6	33	○入所時と家族カンファレンスの際には、「看取りは、できません」と、事業所でできることを説明し、方針を共有する。			6ヶ月
7	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	広報の写真の掲載については口頭のみではなく、書面で同意を得る。	丁度11月に広報誌ががあるので、聞に合うように同意書をもらう。	2ヶ月
8	45	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて個々にそつた支援をしている。 調査時点での入浴チェック表に記録漏れがあつた。	入浴チェック表の検討を行い、チェック漏れが無いようにする。	チェック表は入浴しなかった理由を色分けし、両ユニット統一した。 チェック漏れがないようにするには、入浴介助した人が最後にチェックする。	随時